

4.2 対外発表

4.2.1 事前対策

既存不適格建造物の耐震補強を推進する新しい制度やシステムの開発				
	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	国吉隆博 目黒公郎	既存不適格建物の耐震補強を促進させるための新しい地震保険制度の検討	土木学会第60回年次学術講演会	2005.9(発表予定)
2	吉村美保 目黒公郎	既存木造建物の耐震補強推進環境の日米比較	日本地震工学会大会 2004,pp68-69	2005.1

軸組木造住宅の耐震診断・補強の実践化システムに関する研究				
	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	村上ひとみ 隅田浩司 小嶋伸二 中村 仁	「すまいのカルテ」点検法改善の提案—萩市浜崎地区における軸組木造住宅の地震安全性調査	日本建築学会(北海道)学術講演会	2004年8月
2	中村 仁他	密集市街地における戦前木造住宅の耐震改修を手がかりとした住民全体のまちづくりの展望—大阪市福島区野田地区における密集市街地まちづくりの実践的研究 その1—	日本建築学会(北海道)学術講演会	2004年8月
3	小笠原昌敏	新潟県中越地震 木造建物詳細調査報告	歴史的市街地・密集市街地における戦前木造建築物群の集団的な耐震改修促進手法の検討、京都大学防災研究所研究集会	2005年1月28日
4	小嶋伸二	震災木造建築物の被災度評価の比較	歴史的市街地・密集市街地における戦前木造建築物群の集団的な耐震改修促進手法の検討、京	2005年1月28日

			都大学防災研究所研究集会	
5	橋本清勇	町屋再生のネットワークとその課題について	歴史的市街地・密集市街地における戦前木造建築物群の集団的な耐震改修促進手法の検討、京都大学防災研究所研究集会	2005年1月28日
6	中村 仁	戦前木造史い`ゆうたくの耐震改修を手がかりとした密集市街地まちづくりの展望—大阪市福島区野田地区を事例として—	歴史的市街地・密集市街地における戦前木造建築物群の集団的な耐震改修手法の検討、京都大学防災研究所研究集会	2005年1月28日
7	村上ひとみ	木造建物は大地震に対して安全・安心か？住民は安心して暮らせるか	阪神・淡路大震災10年事業シンポジウム「くらしといのちを守る」日本建築学会近畿支部	2005年3月22日
8	村上ひとみ	2004年新潟県中越地震の人的被害と救急・救助活動の実態調査	日本建築学会(近畿)学術講演会	2005年9月

不動産評価への防災災害リスクの導入				
	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	根上彰生 浅利隆文 池田太一 宇於崎勝也 中村八郎 生田目裕	不動産流通業者の意識調査をとおした木造中古住宅の耐震化促進策の検討—不動産評価への防災災害リスクの導入に関するけんきゅ宇—	日本大学工学部学術講演会講演論文集	平成16年11月17日

	三橋博巳			
2	根上彰生 浅利隆文 池田太一 宇於崎勝也 中村八郎 生田目裕 三橋博巳	不動産流通の実情を踏まえた既存木造住宅の耐震化促進に課金する検討—東京圏の不動産流通事業者を対象としたアンケート調査の分析—	日本地震工学会 大会—2004 梗概集	平成 17 年 1 月 13 日
3	浅利隆文 池田太一 初於崎勝也 中村八郎 生田目裕 根上彰生 三橋博巳	既存木造住宅の耐震補強促進に資する不動産評価からの一考察—建物固定資産税の減免が及ぼす価値の増加を通して—	日本地震工学会 大会—2004 梗概集	平成 17 年 1 月 13 日
4	中村八郎 浅利隆文 池田太一 宇於崎勝也 生田目裕 根上彰生 三橋博巳	木造住宅の耐震化促進を目的とした動機付けと市場形成のための「住宅耐震検査制度」導入に関する試案の考察	日本地震工学会 大会—2004 梗概集	平成 17 年 1 月 13 日

保険デリバティブ制度の検討				
	発 表 者	題 名	発 表 先	発表年月日
1	神田亜希子 三田 彰	評価モデルの構造に着目した低層住宅の損傷評価に関する研究	日本建築学会構造系論文集、第 588 号, 57-62	平成 17 年 2 月

防災性能と福祉を結合した既存住宅改修支援制度の創設に関する研究				
	発 表 者	題 名	発 表 先	発表年月日
1	塩崎賢明	東南海・南海地震による被害の軽減に関	日本建築学会	2004 年 9

	寺村省吾 堀田祐三子	する研究 津波からの避難と住宅の耐震化に着目して(その1)		月
2	寺村省吾 塩崎賢明 堀田祐三子	東南海・南海地震による被害の軽減に関する研究 津波からの避難と住宅の耐震化に着目して	日本建築学会	2004年9月
3	塩崎賢明	南海地震被害想定地域における住民の予防対策の阻害要因に関する研究	日本都市計画学会	2004年10月
4	塩崎賢明	「既存木造住宅の耐震改修はなぜ進まないかー南海地震被害予想地域での調査からー」	NPO 法人西山卯三記念 すまいまちづくり文庫 第13回 すまい・まちづくりフォーラム報告	2004年10月
5	塩崎賢明 堀田祐三子	東南海・南海地震想定地域における既存木造住宅の耐震改修をいかに促進するか	地震工学会	2005年1月
6	塩崎賢明	「阪神大震災から10年、安全がみえる商品開発をいかに促進するか」	「経理情報」No.1078	2005年3月

木造建築物を対象とした簡便かつ高精度な耐震診断技術の開発				
	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	島田佳和 岡田成幸 高井伸雄 田畑直樹 名知典之	建物微動の複雑性に関わる事件解析に基づく簡易耐震診断の可能性 ー愛知県における建物微動観測ー	日本建築学会北海道支部論文報告集、77	平成15年6月
2	島田佳和 岡田成幸 高井伸雄 田畑直樹 名知典之	建物微動の複雑性に関わる次元解析に基づく簡易耐震診断の可能性 ーその1 愛知県における建物微動観測ー	日本建築学会大会梗概集、B-2	平成15年8月
3	名知典之 岡田成幸 高井伸雄 田畑直樹 島田佳和	建物微動の複雑性に関わる事件解析に基づく簡易耐震診断の可能性 ーその2 微動の次元解析法ー	日本建築学会大会梗概集、B-2	平成15年8月

4	岡田成幸 高井伸雄 田畑直樹 島田佳和	住家の原位置的簡易耐震診断法の開発 その 1. 建物微動のカオス性に着目した次元解析法	日本建築学会学術講演 梗概集	平成 16 年 9 月 (発表予 定)
5	島田佳和 岡田成幸 田畑直樹	住家の原位置的簡易耐震診断法の開発 その 2. レーザードップラー振動計による屋外からの建物微動測定	日本建築学会学術講演 梗概集	平成 16 年 9 月 (発表予 定)
6	北野敦則 後藤康明 城 攻 原藤清佳	SRC 造内柱梁接合部のせん断耐力算定 に関する実験的検討	コンクリート工学年次 論文報告集、26(2), 1429-1434	平成 15 年 7 月
7	出井順二 北野敦則 後藤康明 城 攻	炭素繊維グリッドを用いた RC 造無開口耐震壁の耐震補強・補修効果に関する実験的検討	コンクリート工学年次 論文報告集、26(2), 1321-1327	平成 15 年 7 月
8	A. Ktano, O. Joh And Y. Goto	Experimental study on the strengthening and repair of R/C wall-frame structures with an opening by CF-sheets or CF-grids	The second international conference on FRP composites in civil engineering-CICE2004	2004 年 12 月
9	後藤康明 城 攻	RC 柱梁骨組の構造性能劣化判定方法 の検討	日本建築学会北海道支 部論文報告集 77, 59-62	平成 15 年 6 月
10	原藤清佳 真田朋幸 若林久人 北野敦則 後藤康明 城 攻	SRC 造内柱梁接合部のせん断耐力算定 に関する実験区的検討	日本建築学会北海道支 部研究報告集 77, 71-76	平成 15 年 6 月
11	出井順二 兼古 学 井 望 北野敦則 後藤康明 城 攻	炭素繊維グリッドを用いた RC 造無開口耐震壁の耐震補強・補修効果に関する実験的研究	日本建築学会北海道支 部研究報告集 77, 71-76	平成 15 年 6 月
12	真田朋幸 若林久人 原藤清佳	SRC 造内柱梁接合部のせん断耐力算定 に関する実験的検討 その 1、試験体概要及び破壊性状	日本建築学会年次大会 梗概集、構造 III、 1161-1162	平成 15 年 8 月

	北野敦則 後藤康明 城 攻			
13	若林久人 真田朋幸 原藤清佳 北野敦則 後藤康明 城 攻	SRC 造内柱梁接合部のせん断耐力算定に関する実験的検討 その2、耐力及び変形性能	日本建築学会年次大会 梗概集、構造Ⅲ、 1163-1164	平成 15 年 8 月
14	松井 望 兼古 学 出井順二 北野敦則 後藤康明 城 攻	炭素繊維グリッドを用いた RC 造無開口耐震壁の耐震補強・補修効果に関する実験的検討 その1 実験概要と破壊性状	日本建築学会年次大会 梗概集、構造Ⅳ、 635-636	平成 15 年 8 月
15	兼古 学 松井 望 出井順二 北野敦則 後藤康明 城 攻	炭素繊維グリッドを用いた RC 造無開口耐震壁の耐震補強・補修効果に関する実験的検討 その2 荷重変形関係及び最大水平耐力	日本建築学会年次大会 梗概集、構造Ⅳ、 637-638	平成 15 年 8 月
16	後藤康明 城 攻	RC 耐震壁の構造性能劣化判定方法の検討	日本区建築学会北海道 支部論文報告集、78	平成 16 年(掲載 決定)

簡便・高精度な耐震診断技術および耐震補強技術の開発				
	発 表 者	題 名	発 表 先	発表年月日
1	山福若菜 五十田博 腰原幹雄 ほか	既存木造住宅耐震性向上に関する総合的研究 その38 振動台実験を実施した建物の接合部の構造性能	2005 年度日本建築学会 大会学術講演梗概集	平成 17 年 9 月 (予定)
2	福本有希 佐藤友彦 槌本敬大 五十田博 坂本 功	既存木造住宅の耐震性向上に関する総合的研究 その39 既存木造住宅からの抽出構面と新築構面の振動台実験の比較	2005 年度日本建築学会 学術講演梗概集	平成 17 年 9 月 (予定)
3	野田 実	既存木造住宅の耐震性向上に関する総	2005 年度日本建築学会	平成 16

	五十田博 市村直也 加藤俊介	合手時研究 その 40 ラーメンフレームの補強について	学術講演梗概集	年 7 月
--	----------------------	-----------------------------	---------	-------

地震時の家具の動的挙動シミュレーターの開発				
	発 表 者	題 名	発 表 先	発表年月日
1	柳田充康 目黒公郎	Web を利用した地震時の家具の動的挙動シミュレーションの構築	土木学会第 59 回年次学術講演会、1-797、	2004.9

室内総合安全診断ソフトウェアの開発 論文発表				
	発 表 者	題 名	発 表 先	発表年月日
1	岡田成幸 田村 篤	被震下建物内で発生する人的被害の軽減化対策規範構築を目的とした被災事例マイクロ解析	東濃地震科学研究所報告、15, 88-120	2005 年 4 月
2	名知典之 田村 篤 岡田成幸	被震下建物内の負傷危険性に及ぼす家族構成の影響 —2003 年十勝沖地震の被災事例マイクロ解析—	2005 年度日本建築学会大会(近畿)学術講演会研究発表	2005 年 9 月 1 日

室内総合安全診断ソフトウェアの開発 マスコミ発表				
	取 材	題 目	メ デ ィ ア	発表年月日
1	岡田成幸 阿部郁男	阪神大震災から 10 年 室内に潜む危険を診断	中日新聞(朝刊生活面)	2004 年 12 月 8 日
2	岡田成幸	大地震発生 そのときあなたは	東海テレビ	2004 年 1 月 15 日
3	岡田成幸	地震時の家具転倒によるわが家の危険度をネットで判定	住宅情報 News	2005 年 1 月号
4	岡田成幸 阿部郁男	家庭の防災対策「家具の配置方法」「安全な部屋」作る 持続可能な形で	毎日新聞(朝刊情報ワイド)	2004 年 2 月 16 日

特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

木造建築物を対象とした簡便かつ高精度な耐震診断技術の開発		
特許出願	出願中	木造建築物の耐震診断法、特願 2002-1011922, 2002

室内総合安全診断ソフトウェアの開発

ソフトウェア開発	室内地震危険度診断プログラム	地震時の室内の負傷危険度を総合的に評価表示するシステム

4.2.2 災害情報

ニューメディアを活用した市民防災情報システムとその有効性評価				
	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	田中淳 吉川かおり	「情報障害者の東海豪雨時の対応実態と東海地震への対策—視覚障害者を対象として」	大都市大震災軽減化特別プロジェクト調査報告書	2004

防災放送の最適化戦略に関する研究開発				
	発表者	題名	発表先	発表年月日
1		「東海地震情報：観測・注意・予知(警戒宣言)情報」CD-ROM 報告書：「東海地震の各種情報に関する民間事業所の対応調査」		平成16年度

災害情報の有効活用に関する総合的研究				
	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	吉井博明	災害と情報——問われる自治体の情報力——	市町村アカデミ	印刷中
2	吉井博明	住宅の耐震化に関する促進・阻害要因の分析	東京経済大学報告書	2004.9
3	吉井博明	2003年十勝沖地震における津波危険地区住民の避難行動実態		2004.3

地震災害の事前および事後の即時対応を考慮した地震情報統合システムの開発 論文発表				
	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	Sibayama,A,and Y.Hisada	An Efficient System for Acquiring Earthquake Damage Information in Damage Area	Proc. of the World Conference on Earthq. Eng.,No.1211	Aug.,2004

〃 解説・パネルディスカッション・招待講演				
1	久田嘉章 村上正浩 柴山明寛	地震防災における GIS の活用	空間情報シンポ ジウム pp175-210	Aug.,2004
2	久田嘉章	広域地震動評価のための地盤情報 (Sub-Surface Soil Informayion for Estimating Storong Ground Motion in Wide Area)	(社)物理探査学会 地震防災シンポ ジウム 地震防 災と地盤一強震 動のための地盤 探査の現状と課 題	Jan.,2004
〃 口頭発表				
1	久田嘉章 村上正浩 柴山明寛 佐藤哲也 座間信作 遠藤真	木造密集市街地における地震防災に関する研究(その4:地域住民による地震被害情報収集に関する実験)	地域安全学会梗概集、 No.15,pp83-86	2004
2	村上正浩 久田嘉章 柴山明寛 佐藤哲也 座間信作 遠藤真	木造密集市街地における人望災二関する研究(その5:地域住民区の災害対応力に関する実験)	地域安全学会梗概集、 No.15,pp87-90	2004
3	名波文乃 村上正浩 座間信作 柴山明寛 久田嘉章	自主防災組織による地震災害の被害情報収集に関する実験	日本建築学会大海学術講演梗概集	2004
4	吉田研史 久田嘉章 川瀬博	建設年代を考慮した木造建物群被害予測モデルの構築		
5	鈴木誠太郎 久田嘉章 伏見実 吉田研史 川瀬博	大加速度入力時ににおける RC 造建物の地震動の破壊力指標に関する研究	日本建築学会大会学術講演梗概集	2004
6	久保智弘	全国地形分類図による周波数特性を考慮	日本建築学会大	2004

	久田嘉章	した表層地盤特性にのついて	会学術講演梗概集	
7	柴山明寛 久田嘉章 源栄正人 佐藤哲也 佐藤健 増田聡	2003年7月26日宮城県北部の地震における建物被害調査—悉皆調査と応急危険度判定との比較—	日本建築学会大会学術講演梗概集	2004
8	久田嘉章 柴山明寛	2003年イラン・バム地震の被害調査報告その5, 余震観測点における建物全数調査について	日本建築学会大会学術講演梗概集	2004
9	川上洋介 久田嘉章 瀬瀬一起	地震観測記録より推定した関東平野におけるサイト特性と地形	日本建築学会大会学術講演梗概集	2004
10	市居嗣之 久田嘉章 柴山明寛	準リアルタイム被害情報収集配信システムの開発—イラン・バム地震における衛星回線を用いた実証実験	日本建築学会大会学術講演梗概集	2004

即時的地震情報の活用者サイドにおける情報翻訳ソフトウェアのね開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	土井恵治	即時的地震情報の活用者サイドにおける情報翻訳ソフトウェアの開発	地球惑星科学関連学会合同大会	平成16年5月10日

大都市大震災に対応可能なITを活用した自治体・防災機関・市民間の広域的災害情報共有・交換システムモデルの研究開発 論文

1	干川剛史	災害時における情報共有・交換のあり方—災害時におけるITを活用した情報共有・交換システムづくりへの取り組み—	『大妻女子大学人間関係学部紀要 人間関係学研究』第6号、大妻女子大学人間関係学部	平成17年3月9日
2	干川剛史	新潟中越地震におけるボランティア活動の実態と課題—ICT活用の観点から—	『消防科学と情報』No.80(財)消防科学総合センター	
// 口頭発表				
1	柴田義孝	JGN IIを活用した大規模防災情報ネット	独立行政法人情	平成16年

		ワーク	報通信研究機構 IT 研究開発支援 センター 平成 16 年度春季研究 発表会	6 月 2 日
2	湯瀬裕昭	東海地震などの大規模災害を想定した住 民・ボランティア団体向け情報交換支援シ ステム	同上	同上
3	干川剛史	大規模災害時における情報の共有と交換 のあり方について—大規模災害対応ポー タルサイト構築への取り組み—	同上	同上
4	干川剛史	大都市大震災に対応可能な IT を活用した 自治体・防災機関・市民間の広域的災害情 報共有・交換システムモデルの研究開発	大大特IV-2. 災 害情報に関する 研究グループ中 間報告シンポジ ウム	同上
5	干川剛史	災害情報ポータルサイト構築に向けて— 災害時における IT を活用した情報共有・ 交換しすてむづくりへの取り組み—	日本災害情報学 会第 6 回学会大 会	平成 17 年 10 月 19 日
6	干川剛史	災害時における情報共有・交換の実態と課 題—IT を活用した広域的災害情報共有・交 換システムづくりへ向けた—	第 77 回日本社会 学会大会	平成 16 年 11 月 19 日
7	干川剛史	新潟県中越地震におけるインターネット 利用の実態と課題—情報ボランティアの 視点から—	独立行政法人情 報通信研究機構 岩手 IT 研究開発 支援センター 防災情報シンポ ジウム	平成 17 年 1 月 28 日
8	湯瀬裕昭	新潟県中越地震におけるインターネット 利用の実態と課題—リンク集作成など被 災地外の視点から—	同上	同上
9	沢野伸吾	「電子国土」を利用した災害情報発信サイ トの構築	同上	同上
10	柴田義孝	無線をベースとした住民向け防災・災害情 報ネットワーク	同上	同上
11	越後博之 湯瀬裕昭 干川剛史	大規模運用が可能な安否情報データベー スシステム	財団法人情報処 理学会第 67 回全 国大会 コンピ	平成 17 年 3 月 2 日

	柴田義孝		ユータと人間社会学生セッション	
12	柴田義孝	東北地区の防災と情報通信の現状	独立行政法人情報通信研究機構 岩手 IT 研究開発支援センター JGN II 防災シンポジウム	平成 17 年 3 月 15 日
13	干川剛史	災害情報支援活動におけるデジタルデバイスー阪神・淡路大震災から三宅島噴火災害までー	日本 NPO 学会第 7 回年次大会「震災 10 年と NPO」	平成 17 年 3 月 21 日
14	N.Sawano,.S.Goto,.M.Yazaki, Risho,S.Hamada,K.Sao,K.Sao, Y.Yoo	ESI MAPPING PROJECT WITH ADVANCED FEATURE	8 th International Conference on Remote Sensing for Marine and Coastal Environments, Alliance for Marine Remote Sensing(AMRS)	17-19 May 2005

地方自治体の災害対策本部における応急対応支援システムの開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	遠藤真 胡哲新 座間信作 関沢愛	地震応急対応需要予備システムの開発	第 16 回地域安全学会	平成 17 年 5 月 13 日

スーパー広域震災時の大都市間連携情報の高度化

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	越村俊一 鈴木進吾 大利桂子 村田行泰 寺田幸博	東南海・南海地震津波立ち居策に向けての 広域連携情報ネットワークの提案	地域安全学会論文集 第 6 巻 pp.139-148	平成 16 年 11 月

	河田恵昭 加藤照之 今村文彦			
2	秦康範 河田恵昭 坂本朗一 高梨成子	災害対応演習システムの開発	地域安全学会論 文集 第6巻 pp.367-372	平成16年 11月
3	越山健治 河田恵昭 秦康範 福留邦洋 菅磨志保	地震時の行政機関の初動対応業務に関する調査研究	日本災害情報学 会 誌 No.3,pp.50-58	平成17年 3月

特許出願、ソフトウェア開発、仕様・標準等の策定

スーパー広域震災時の大都市間連携情報の高度化		
	名 称	機 能
ソフトウェア開発	TRRUST(Tsunami-disaster Response with Unitive Strategies)の開発	広域津波をターゲットとした複数機関間の情報提供及び連携システム

即時的地震情報の活用者サイドにおける情報翻訳ソフトウェアの開発		
	名 称	機 能
ソフトウェア開発	緊急地震速報の翻訳ソフトウェア	気象庁が発表する緊急地震速報を受信し、活用地点における最大震度、地動の最大加速度、地動の最大速度、主要動が到着するまでの猶予時間を予測
ソフトウェア開発	緊急地震速報翻訳結果の表示ソフトウェア	上記翻訳ソフトウェアでの処理結果をグラフィックに表示するとともに音響涛によりユーザーに警告
ソフトウェア開発	翻訳ソフトウェアデモンストレーション用模擬情報発信ソフトウェア	翻訳ソフトウェアを試験するための模擬の緊急地震速報を発信
ソフトウェア開発	過去データ再現用ツール	受信した緊急地震速報のね処理結果ログから必要な情報を読み出し、表示ソフトウェアに送出

地方自治体の災害対策本部における応急対応支援システムの開発

	名 称	機 能
ソフトウェア開発	地方自治体の災害対策本部における応急対応支援システム	被害予測、応急対応需要量、応援需要量の推計

4.2.3 復旧・復興

(1) 2004年度地域安全学会研究発表会 一般投稿論文：ポスターセッション

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	中野 孝夫 熊谷 良雄	震災時を踏まえた消防水利の現況と課題	地域安全学会梗概集 No.15 (2004)	2004年11月
2	塚越 功, 梶 秀樹, 佐藤慶一, 原野泰典	大規模震災後の住宅供給について	地域安全学会梗概集 No.14 (2004)	2004年5月
3	村上ひとみ 宮脇寛	1995年阪神・淡路大震災における家屋解体率と解体原単位に関する資料調査・分析	地域安全学会梗概集 No.14 (2004)	2004年5月
4	大友諒香 樋口大介 北後明彦 室崎益輝	北海道南西沖地震から10年を経た住宅再建・復興の実態	地域安全学会梗概集 No.15 (2004)	2004年11月
5	木本勢也 横山健志 北後明彦 室崎益輝	雲仙普賢岳噴火災害から13年を経た住宅再建・復興の実態	地域安全学会梗概集 No.15 (2004)	2004年11月
6	小田淳一 首藤由紀 斎藤朗 木村拓郎	大都市大震災を対象とした生活再建の政策立案プログラムの構築(2)－大都市大震災における生活再建実態と支援施策の関連分析－	地域安全学会梗概集 No.15 (2004)	2004年11月
7	斉藤幸司 大関千恵 荻本孝久 山本俊雄	阪神・淡路大震災の復旧・復興過程に関する時系列分析に関する研究	地域安全学会梗概集 No.14 (2004)	2004年5月
8	大関千恵 荻本孝久 山本俊雄	大都市大震災の復旧・復興を考慮した防災計画に関する研究	地域安全学会梗概集 No.15 (2004)	2004年11月

9	饗庭伸 半田良記 高見澤邦郎 中林一樹 市古太郎 吉川仁	「地域復興協議会」を展望した東京都におけるまちづくり組織の実態に関する研究	地域安全学会梗概集 No.14 (2004)	2004年5月
10	市古太郎 村上大和 饗庭伸 吉川仁 中林一樹	参加のまちづくり技術を用いた『地域協働復興型』事前復興まちづくり訓練の報告ー練馬区貫井での実践を通してー	地域安全学会梗概集 No.14 (2004)	2004年5月
11	山崎栄一	佐賀県突風災害における被災者支援	地域安全学会梗概集 No.15 (2004)	2004年11月
12	伊吹貫人 寺本佳織 阪田弘一 高木真人	阪神・淡路大震災における被災経験が異なる住民の被災時避難所生活に関する意識と要求	地域安全学会梗概集 No.14 (2004)	2004年5月
13	寺本佳織 伊吹貫人 秩父大輔 森田孝夫 阪田弘一 高木真人	水害時と震災時における避難者の避難所選択行動および避難所生活に関する意識と要求	地域安全学会梗概集 No.15 (2004)	2004年11月

(2) 論文発表、その他

(a) 大都市大震災復旧・復興プロセスにおけるコミュニティの自律的被災者救援システム

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	今井 孝 熊谷 良雄 岩見 達也	建築物の耐震補強による地震時出火件数の減少と初期火災への対応に関する効果分析	日本火災学会論文集 第54巻第2号	2004年10月

(b) 大都市大震災復旧・復興プロセスにおける住宅喪失世帯への対応

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	塚越 功	地震火災対策に関する戸建住宅の実態調査	2004年度日本建築学会大会(北海道)学術講演会	平成16年8月

2	K. Sato I. Tsukagoshi, H. Kaji K. Ishibashi	Demand Modeling for Temporary Housing Support after an Earthquake Disaster	Proceedings, International Symposium on City Planning 2004, pp. 483-490	2004. 9
3	K. Sato K. Ishibashi H. Kaji	Formulation of Distribution Problem on Temporary Houses Reflecting Resident's Satisfaction	1st International Conference on Urban Disaster Reduction	2005. 1

(c) 大都市大震災復旧・復興プロセスにおける被災集合住宅の復旧復興

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	戎 正晴	マンション建替え円滑化 法のポイント解説	マンション管理実務講座 (中級編)、マンション学会	平成 16 年 3 月 6 日
2	大西一嘉	マンションの防災対策の ポイント	マンション管理実務講座 (中級編)、マンション学会	平成 16 年 3 月 13 日
3	津久井進 戎正晴	マンション復興支援にお ける専門職能及び行政の 連携	「まちづくりセンター・研 究ネットワーク共催シン ポジウム」 8	平成 16 年 3 月 25 日
4	大西一嘉	関西の都心居住一超高層 住宅の可能性と限界、住み 手の立場から	2004 年度社団法人都市住 宅学会関西支部記念シンポ ジウム、都市住宅学会	平成 16 年 5 月 22 日
5	大西一嘉	Disaster Management for Housing Restoration and Assistance Program after Kobe Earthquake 1995	Conference of EFCA2004 (European Federation of Engineering Consultancy Associations)、Turkey	平成 16 年 5 月 24 日
6	大西一嘉	復旧・復興プロセスにおけ る被災集合住宅の復旧復 興	神戸大学都市安全センタ ー震災 10 周年記念講演	平成 16 年 8 月 4 日
7	地主俊樹	被災者支援のあり方	－阪神淡路大震災－復興 10 年総括検証・提言報告、 復興 10 年委員会、阪神・ 淡路大震災記念協会	平成 17 年 1 月
8	大西一嘉	How we can encourage victims after a big disaster? -Act of Victims' Revival Assistance-	1 st . International Conference on Urban Disaster Reduction, 2005. Jan18-20, Kobe, ISSS/EERI	平成 17 年 1 月 19 日

9	野崎隆一	コミュニティ特性と防災	NPO連携まちづくりシンポジウム 「災害にどう備えるか」	平成17年3月19日
10	大西一嘉	阪神・淡路大震災時の復興（復旧・建替等）から学ぶ	マンション管理実務連続講座	平成17年3月19日

(d) 大都市大震災復旧・復興プロセスにおける被災戸建住宅の補修支援プログラム

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	村上ひとみ	地震被災住宅の解体率－2000年鳥取県西部地震と1995年兵庫県南部地震の事例－	日本建築学会近畿支部研究発表会	2004.03.14
2	村上ひとみ、瀧本浩一、三樹亮介	地震後の住宅復旧相談の課題と支援情報システムの開発	地域安全学会論文集、No.6, pp,269-276, 2004	2004年11月
3	Murakami, H., H. Miyawaki, Y. Kumagai	Environmental effects by demolition of damaged dwellings and strategy for sustainable recovery in great urban earthquakes	The 2005 World sustainable building conference in Tokyo	27-29 September, 2005
4	江崎栄、榊原弘之、村上ひとみ	鳥取県西部地震後の家屋再建の意思決定に関する研究	土木学会中国支部研究発表会発表概要集	2004.05.29.
5	榊原弘之、江崎栄、村上ひとみ	鳥取県西部地震後の住宅再建の影響要因に関する研究	第23回日本自然災害学会学術講演会	2004年9月14日
6	Sakakibara, H., Esaki, S., Murakami, H.	Decision on Reconstruction of Houses After an Earthquake- The Case of the Tottori-Seibu Earthquake -	Fourth Annual IIASA-DPRI Forum Integrated Disaster Risk Management: Challenges of Implementation	2004年7月4日
7	浅野真実・富士尚俊・中園真人	木造軸組工法住宅用落とし込み板壁の耐力性能に関する実験的研究 その3 落とし込み二重板パネルの水平加力試験	日本建築学会中国支部研究報告集, 第28号, 73-76,	2005年3月

8	富士尚俊・浅野真実・中園真人	木造軸組工法住宅用落とし込み板壁の耐力性能に関する実験的研究 その4 落とし込み二重板パネルの理論解析	日本建築学会中国支部研究報告集，第28号，77-80	2005年3月
9	廣島希・盆子原和也・富士尚俊・中園真人	落とし込み二重板パネルによる木造耐力壁の耐力性能に関する実験的研究 その1 実験概要および結果	日本建築学会大会学術講演梗概集	2005年9月予定
10	盆子原和也・廣島希・富士尚俊・中園真人	落とし込み二重板パネルによる木造耐力壁の耐力性能に関する実験的研究 その2 落とし込み二重板パネルの理論解析	日本建築学会大会学術講演梗概集	2005年9月予定

(e) 大都市大震災復旧・復興プロセスにおける住宅再建支援プログラムの開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	北後明彦	大規模災害後の復興プロセスにおける住宅再建支援に関する教訓	2003年度大大特研究発表会（神戸）	平成16年6月19日

(f) 大都市大震災を対象とした生活再建の政策立案プログラムの構築

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	木村拓郎	被災者支援と防災を問う	NHK日曜討論	平成16年10月31日
2	木村拓郎	被災者の声にどうこたえるか	NHK日曜討論	平成16年11月7日
3	木村拓郎	三宅島にみる被災者再建支援	関西学院大学 被災地交流会	平成17年2月12日

(g) 大都市大震災における復旧・復興評価手法の開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	荻本孝久 山本俊雄 今成雄一郎	阪神・淡路大震災における市街地の復旧・復興プロセスに寄与した要因分析	2005年地域安全学会研究発表会投稿中	2005年5月投稿中

(h) 大都市災害を対象とした事前復興計画の立案・策定システムの開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	中林一樹	復興は復興のためならず, 防災は防災のためならず	街並み Vol. 34, pp. 14-17	平成 16 年 4 月
2	饗庭伸	まちづくり条例とガバナンスのシステム形成	地域開発, 第 477 号, pp. 28~33	平成 15 年 6 月
3	饗庭伸 中林一樹	震災復興 NGO の組織の成長に関する国際比較	日本 NPO 学会	平成 16 年 3 月 19 日
4	市古太郎 小野田知美 村上大和 饗庭伸 吉川仁 中林一樹	事前復興論に基づく震災復興まちづくり模擬訓練の設計と試行	地域安全学会論文集 No. 6, pp. 95-104	平成 16 年 11 月 13 日
5	饗庭伸 市古太郎 吉川仁 中林一樹 村上大和 高見澤邦郎	震災復興まちづくり模擬訓練手法の開発	日本建築学会技術報告集, 第 20 号, pp. 377-382	平成 16 年 12 月
6	中林一樹	『事前復興計画』の理念と展望	都市計画 No. 205, pp. 23-26	平成 17 年 1 月
7	Taro ICHIKO Shin AIBA Itsuki NAKABAYASHI	A Community-training Program Focusing on Reconstruction: Project report in Nerima Ward Tokyo	1st ICUDR, Kobe	2005. January
8	市古太郎	新小岩地区、復興まちづくり模擬訓練の中間報告	災害復興まちづくり支援機構 阪神淡路大震災 10 周年シンポジウム「専門家職能団体と市民・行政との協働で安心・安全なまちづくりを」	平成 17 年 2 月 6 日
9	市古太郎	第 7 章事例報告: 練馬区貫井地区の震災復興まちづくり模擬訓練	『まちづくり教科書シリーズ 7 巻安全・安心のまちづくり』丸善	平成 17 年 3 月

(i) 大都市大震災時における地域経済復興支援方策の開発研究

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	小林郁雄 (コー・プラン)	趣旨説明、参加者紹介 被災集合住宅の復旧・復興 復興政策総合評価システムの構築 住宅再建支援プログラム 地域経済復興支援方策の開発研究	2003年度大大特(神戸) 報告会	2004.6.19 人と防災未来センター
	小林郁雄 山本俊貞 (地域問題研究所)	地域経済チームの研究概要 都市観光地区の再建－北野・山本地区の復興市民活動 住宅に関する総合的な防災対策システムの開発		
2	山本俊貞 (地域問題研究所) 浜村芳昭 (神戸市地域支援室) 辰馬朱満子 (白鷹緑水苑)	事例報告：魚崎郷地区 事例報告：西郷(新在家)地区 講演：西宮郷の酒蔵再生	2004年度第5回 研究検討会 「酒蔵地区の再生」	2004.10.14 こうべまちづくり会館2階ホール
3	小林 郁雄(コー・プラン) 黄世輝(国立雲林科学技術大学) 楊修銓(易展管理顧問有限公司) 服部くみ恵(東京芸術大学院生) 小森星児(ひょうごボランティアプラザ所長)	司会 震災復興における地域産業復興課題 台湾大地震からの地域産業復興の状況 台湾大地震における震災復興まちづくり 阪神大震災10年検証における地域産業とまちづくりの課題	特別シンポジウム 震災復興と地域産業(コミュニティビジネスへの新たな展開) 「震災からの地域産業復興」	2004.11.27 こうべまちづくり会館2階ホール

	発表者	題名	発表先	発表年月日
4	三谷 陽造 (神戸市総合計画課／「震災10年神戸からの発信」事務局企画広報部長) 久保光弘 (久保都市計画事務所) 南 研泰 (南運送(株)／新長田駅北地区東部まちづくり協議会連合会部会長)	報告:ケミカルシューズの10年 報告:内発的ビジョンづくりと外圧的産業構造変化 講演:商工活性化部会の取組と地域共通割引商品券「ハーバー」	2004年度第6回 研究検討会 「新長田工業地区の再生」	2004.12.09 こうべまちづくり会館2階ホール

(j) 大都市大震災における復興政策総合評価システムの構築

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	千葉恵美子	民法2物権(アルマ・シリーズ)	有斐閣	2005年4月刊行予定
2	棟居快行	「営業の自由」109～113頁 「財産権保障」114～127頁	『憲法解釈演習』信山社	2004年
3	千葉恵美子	規制改革と契約法	名古屋大学法政論集 201号	2004年
4	棟居快行	貸金業法43条は違憲である	消費者法ニュース	2004年10月
5	山崎栄一	自立支援金訴訟後の調停事件から見た被災者支援制度の問題点	九州社会福祉研究第29号	2004年
6	山崎栄一	自治体と被災者支援法制	地域防災研究論文集第1巻	2004年
7	棟居快行	司法権の現状と将来(報告)	北大法学会	2004年11月
8	山崎栄一	被災者支援法システムの構築(報告)	九州社会法研究会	2004年3月
9	山崎栄一	自立支援金訴訟その後—調停事件に見る被災者支援制度の問題点(報告)	九州公法判例研究会	2004年9月

10	林敏彦	復興資金―復興財源の確保	兵庫県震災復興 10 年検証総括検証部会	2004 年 12 月
11	林敏彦ほか	震災復興と公共政策:文部科学省大都市大震災軽減化特別プロジェクトⅣ―3「大都市大震災における復興政策総合評価システムの構築」研究会講演録	DRI 調査研究レポートシリーズ Vol.4, 人と防災未来センター	2004 年 11 月

(k) 大都市大震災を想定した避難所計画の有効性評価システムの開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	阪田弘一 森田孝夫 高木真人 伊吹貫人	震災時を想定した避難所整備課題について―阪神・淡路大震災と新潟県中越大震災の被災地調査をもとに―	第 23 回地域施設計画研究シンポジウム	平成 17 年 7 月 発表予定
2		孤立した自主避難所	京都新聞	平成 16 年 11 月 30 日
3	阪田弘一	災害と共同体の力	京都新聞	平成 16 年 12 月 24 日

